

研修会報告

平成 28 年 11 月 1 日

文責：生理検査部門 三木 俊

研修会テーマ「症例とライブで学ぶ呼吸機能検査」～手技と解釈～

開催日時平成 28 年 10 月 30 日（日）13：00～17：00

会場東北大学医学部 1 号館 第 2 講義室

司会：東北大学病院生理検査センター 三木 俊

座長：東北大学病院生理検査センター 情野千文

「これからの呼吸機能装置について」

東北大学大学院医学系研究科産業医学分野／呼吸器内科 小川浩正

症例検討

仙台市立病院 小野寺 由磨 「DLco 低値の症例」

仙台厚生病院 三崎 千恵美 「検査データと主訴が解離した一例」

仙台医療センター菅原 亜紀子 「血液内科における閉塞性細気管支炎が疑われる症例」

東北大学病院 小室 弘仁 「DLco の高値症例」

石巻赤十字病院 佐竹 真希子 「Dlco と SVC 報告に悩んだ症例」

東北大学病院 青木 桜子 「結果報告の判断に苦慮する参考値」

教育講演（ライブレクチャー）

「匠から学ぶ呼吸機能検査法」～手技と解釈～

滋賀医科大学医学部附属病院 検査部 藤澤 義久

17:00 終了

予定生涯教育点数 専門 20 点、会員参加者 85 名

内容

今回の呼吸機能研修会は初心者から中級者を対象とした「症例とライブで学ぶ呼吸機能検査」として各施設からの症例検討とスクリーニングから精査検査のライブ&レクチャーの研修会だった。研修会は「これからの呼吸機能装置」として東北大学大学院の小川浩正先生より今後が必要とされる呼吸機能装置の説明があった。症例検討では各施設から「この症例をどう読む？」として日常臨床でよく遭遇する迷った症例を提示して頂いてディスカッションを行った。コメンテーターとして藤澤先生と小川先生も加わって頂いたことで大変明確な診断と報告のアドバイスを頂いた。教育講演では「匠から学ぶ呼吸機能検査法」～手技と解釈～として滋賀医科大の藤澤義久先生より FRC・DLco を中心にレクチャーを頂き、ライブではスパイロメトリーから FRC・DLco まで、方法とデータの見方・考え方まで、まさに手技と解釈を詳しく説明して頂いた。全体を通して、今回の呼吸機能研修会は会場満席近い 90 名弱と多くの参加者があり、充実した内容だったと思う。今後も宮城県臨床検査技師会員のための楽しく学べる生理検査研修会を多く開催し、勉強する場を提供したい。